



船橋市議会議員

(37歳)

みっはし

三橋さぶろう**ヘリサイン設置に取り組む**

ヘリサインとは？

大規模な災害が起きた場合、建物が倒壊や焼失、流失や水没することにより、ヘリコプターから地上を見ると目標や目印となる建物が無くなってしまい、位置を特定することが困難となり救助活動等に時間がかかるなどの問題が発生します。

こういった場合でも上空から見て位置を特定しやすくするため、頑丈な公共施設の屋上を中心に、蛍光色の塗料等で施設名の略称を表示するものをヘリサインと呼ばれています。災害時は各方面から地理に不慣れなヘリコプターも応援に来ることが想定されることから、迅速に活動できるようヘリサインの設置が各自治体で進んでいます。

8月25日より船橋市市議会第3回定例会がはじまり、9月3日に一般質問いたしました。質問の詳しい内容について順次お伝えしてまいります。

【ヘリサインについて質問1】三橋（要約）

大規模な災害が起きた場合、救助活動や緊急物資輸送のため各方面からヘリコプターが応援に来ることになると思います。また、大規模災害時には地理に不慣れな応援ヘリコプターも多数くることが予想されます。こういった場合でもヘリサインが多くあると救助などの活動が迅速にすることが期待できると思います。船橋市でもヘリサインを行田2丁目の防災備蓄センターなどにも設置しているのを視察しました。

現在、船橋市にはヘリサインは何か所設置されているのでしょうか？ また今後、ヘリサインを設置する計画はあるのでしょうか？

(裏面につづく)

(表面から)

【答弁】(要約) 市長公室 危機管理課

本市におきましても公共施設の中より調査し、施設の絞り込みを行い、平成26年度に消防署所、医療センター、防災備蓄センターなど12箇所に整備いたしました。

また、県立船橋高等学校や船橋豊富高等学校には、千葉県で既に設置されており、市内にヘリサインは14箇所です。

【質問2】(要約) 三橋

小中学校の校舎にヘリサインの設置をお願いします。小中学校は災害時に避難場所になり、ここに救援物資をヘリコプターが届けることも想定されます。

東日本大震災では小学校に避難している重症患者を病院に搬送するため現場に向かったが、似たような学校があり目的の建物が判別できず、別の場所に着陸してしまったことがあったそうです。

市内でも飯山満中学校と飯山満南小学校は隣接しているうえ、近くには東葉高校があります。市内には学校が隣接するところが他にもありますから、先ほど申し上げた東日本大震災のようなケースが起きないように対応をお願いいたします。

ヘリサインの設置は建物の屋上に蛍光色の塗料で建物の略称を書くものですから、それほど多くのお金が必要でなく、簡単に設置できるので、早く設置していただき災害に強い船橋市にしてもらいたいと思います。

千葉県内でヘリサインを広めるため、野田たけひこ県議会議員と連携しながら取り組んでいます。また、市川市、鎌ヶ谷市、浦安市、柏市の民主党市議会議員に9月議会で取り上げてもらい、各自治体にヘリサイン設置に向けた取り組みも進めています。

三橋さぶろう事務所

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 1階

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

HP: <http://mituhashisaburo.jp>

事務所にお越しの場合はあらかじめご連絡いただくと助かります。